



タイルラックシリカーSベースII

美しい立体感のある模様をつくり出す、防火認定材料の複層塗材 Si 主材

■特長

①防火認定材料

複合型化粧用仕上材塗りの防火材料に認定されています。

※防火性能が必要な場合は、塗装仕様に制限があります。
詳しくは防火認定塗装仕様欄をご確認ください。

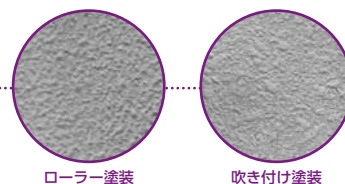
| 防火材料認定番号 | 品目名 |
|----------|-------------------|
| NM-8573 | 複合型化粧用仕上材塗り／不燃材料 |
| QM-9813 | 複合型化粧用仕上材塗り／準不燃材料 |
| RM-9362 | 複合型化粧用仕上材塗り／難燃材料 |

②ローラー・吹き付け兼用

希釈率を変えるだけで、それぞれの塗装方法が選択できます。

③美しい仕上がり

丸みを帯びた均一な立体感のある美しい模様が得られます。



ローラー塗装

吹き付け塗装

④長期性能持続性

各種下塗り・上塗りと組み合わせることで、長期にわたり、すぐれた耐候性・密着性・耐水性を発揮します。

■JIS A 6909適合塗装仕様 (その他組合せは裏面をご参照ください。)

| 工程 | 塗料名 | 塗り回数 (回) | 使用量 (kg/m ² /回) | 塗り重ね 乾燥時間 (23℃) | 希釈剤 | 希釈率 (%) | 塗装方法 |
|------|---|----------|----------------------------|-----------------|-----|---------|-----------------------|
| 素地調整 | ごみ、未硬化セメント粉末、砂じん、油脂分などの付着物をワイヤーブラシ、皮すき、サンドペーパー、ウエスなどで除去し、乾燥した清浄な面とする。 | | | | | | |
| 下塗り | 水性透明シーラー | 1 | 0.04～0.05 | 2時間以上 | 水道水 | 100 | はけ、ウールローラー エアレスプレー |
| 主材 | ローラー塗装 | 1～2 | 1.00～1.50 ^{注)} | 16時間以上 | 水道水 | 1～5 | 砂骨ローラー |
| | 吹き付け塗装 | 1～2 | 1.40～2.00 ^{注)} | 16時間以上 | 水道水 | 0～3 | タイルガン |
| 上塗り | タイルラック水性トップつや一番 | 2 | 0.17～0.20 | 4時間以上 | 水道水 | 5～10 | はけ、ウールローラー エアレスプレー |

●上記の各数値は、すべて標準のものです。被塗物の形状、素地の状態、気象条件、施工条件によりそれぞれ多少の幅を生じることがあります。

塗料の塗り重ねは所定の塗り重ね乾燥時間をまもってください(縮み、割れ、乾燥不良、付着不良などが起こります)。

●カタログに記載されている内容は一般的な環境下での施工を想定して記載されております。特別な環境が想定される施工現場・部位に塗装される場合は、事前に必ず当社営業までご相談いただきますようお願いいたします。

注)主材の使用量は塗り回数1～2回で使用するトータル量です。

※公共建築工事標準仕様の仕上げ塗料としてご使用の場合には仕様・使用量が異なります。公共建築工事標準仕様に準拠した施工を実施する場合、公共建築工事標準仕様で規定された仕様・所要量にてご使用願います。

■防火認定適合塗装仕様

| 工程 | 塗料名 | 塗り回数 (回) | 使用量 (kg/m ² /回) | 塗り重ね 乾燥時間 (23℃) | 希釈剤 | 希釈率 (%) | 塗装方法 |
|------|---|----------|----------------------------|-----------------|-----|--------------|-----------------------|
| 素地調整 | ごみ、未硬化セメント粉末、砂じん、油脂分などの付着物をワイヤーブラシ、皮すき、サンドペーパー、ウエスなどで除去し、乾燥した清浄な面とする。 | | | | | | |
| 下塗り | 水性透明シーラー | 1 | 0.03以下 | 2時間以上 | 水道水 | 100 | はけ、ウールローラー エアレスプレー |
| 主材 | ローラー塗装 | 1～2 | 1.20以下 ^{注)} | 16時間以上 | 水道水 | 1～5 | 砂骨ローラー |
| | 吹き付け塗装 | 1～2 | 1.40以下 ^{注)} | 16時間以上 | 水道水 | 0～3 | タイルガン |
| 上塗り | オーデフレッシュ U100 II | 2 | 0.12以下 | 3時間以上 | 水道水 | 5～10 | はけ、ウールローラー エアレスプレー |
| | タイルラック水性トップつや一番 | | | 4時間以上 | 水道水 | 5～10 | |
| | オーデコートGエコ | | | 4時間以上 | 水道水 | 0～10 | |
| | 水性ケンエース | | | 2時間以上 | 水道水 | 2～8 | |
| | エコフラット30/60/70/100 Hi ビニレックスエコ60/70 | | | 2時間以上 | 水道水 | 5～10 5～15 | |

●使用量：被塗装面単位面積あたりの塗装材料(希釈する前)の使用質量

●塗付け量：被塗装面単位面積あたりの塗装材料(希釈する前)の付着質量

注)主材の使用量は塗り回数1～2回で使用するトータル量です。

ニッペ タイルラックシリカーSベースII

■用途

内外部壁面

■主な下塗り・上塗り塗料

| 工程 | JIS A 6909適合 | 防火材料認定適合 |
|-----|--|---|
| 下塗材 | 水性透明シーラー 水性ホワイトシーラー 水性カチオンシーラー(透明・ホワイト) 液浸透シーラー ファイン浸透シーラー(透明・ホワイト) | 水性透明シーラー |
| 上塗材 | タイルラック水性トップつや一番 デュフロン4F II フレッシュ* オーデフレッシュ U100 II オーデフレッシュ Si100 III オーデフレッシュ F100 III* ファインウレタン U100 ファインシリコンフレッシュ II* ファイン Si ファイン4F セラミック* ファインフック* | タイルラック水性トップつや一番 オーデフレッシュ U100 II オーデコート G エコ 水性ケンエース エコフラット30/60/70/100 Hi ビニレックスエコ60/70 |

JIS A 6909は主材が JIS 規格品であり、「下塗材・主材・上塗材」の組合せで JIS A 6909適合仕様となります。
※の商品は JIS A 6909適合品ではありませんが使用は可能です。

■塗り重ね乾燥時間

| | 5~10℃ | 23℃ | 30℃ |
|--------|--------|--------|--------|
| 塗り重ね乾燥 | 24時間以上 | 16時間以上 | 16時間以上 |

■施工上の注意事項 ●詳細な内容については、各商品の製品使用説明書などにてご確認ください。

1. 蓄熱されやすい建材(軽量モルタル、ALC、窯業サイディング、発泡ウレタン使用建材など)を使用した「高断熱型外壁」で、旧塗膜が弾性リシン、弾性スタッコ、アクリルトップなどの場合、塗り替え段階ですでに旧塗膜が膨れていることがあります。そのまま塗装すると膨れがさらに拡大する可能性がありますので、完全に除去してください。また「高断熱型外壁」に塗装する場合は、蓄熱、水分、下地の状態、塗装環境など複数の条件が重なることで、建材の変形、塗膜の膨れ、はく離が生じることがありますので、最寄の営業所などにご相談ください。
2. 塗装場所の気温が5℃未満、もしくは湿度85%以上である場合、または換気が十分でなく結露が考えられる場合、塗装は避けてください。
3. ALCパネルに塗装する場合は、平滑性と表面強度を保持するため、フィラー類での下地調整が必要です。
4. 下地の状態や形状、面積、塗料温度、塗装条件などによって、見本と色調および模様の変異を生じる可能性がありますので、塗装前に試し塗りをしてください。
5. 仕上がり模様は、事前に試し塗りをを行い条件などを設定してから本施工に入ってください。
6. 絶えず結露が発生するような用途、場所での使用は避けてください。著しい結露が発生する場所では、塗料中の水溶性成分が表面に溶出し、黄色い粘着物などとなって析出するおそれがあります。著しい結露が予測される場合は、塗装を避けてください。
7. 乾燥後、乾燥不十分な状態で降雨結露などがある場合や、低温、高湿度、通風のない場合には、膨れ、はく離、割れ、白化、シミが発生するおそれがありますので、塗装を避けてください。やむを得ず塗装する場合は、強制換気などで湿気分を飛ばすようにしてください。シミが発生した場合は乾燥後拭き取り除去してください。
8. 乾燥後の塗膜に付いた汚れは、シンナーなどの溶剤では拭かず、せっけん水で洗浄してください。
9. スプレーノズルの先端は、ときどき水洗いをしてください。作業効率の低下および塗りむらの原因になります。
10. 乾燥条件によっては塗膜表面に粘着を感じることがありますが、時間とともになくなります。
11. 塗膜に割れが生じるおそれがあるため、乾らぬ塗膜の上への塗装は避けてください。
12. 氷点下で貯蔵すると凍ります。凍らないように5℃以上で貯蔵、保管してください。
13. 旧塗膜に発生した藻・かびは、洗浄などで必ず除去し、清浄な面としてください。付着障害をおこすおそれがあります。
14. 既存塗膜のはく離箇所は、既存塗膜の塗装仕様でパターン合わせを行ってください。
15. 風化面・吸込みの著しい下地では、ニッペ浸透性シーラー(新)、ニッペ液浸透シーラー、ニッペファイン浸透シーラー、ファインパーフェクトシーラーをご使用ください。
16. シーリングの上に、劣化、ひび割れなどの損傷がある場合は、打ち直しをしてください。
17. 素地表面のアルカリ度はpH10以下、表面含水率は10%以下(ケツト科学社製 CH-2型で測定した場合)、または5%以下(ケツト科学社製 H100シリズ・コンクリートレンジで測定した場合)の条件で塗装してください。
18. 表面のごみ、ほこり、エフロレッセンス、レタキンスなどは除去し、目違い、ジャンカ、コールドジョイントなどは、樹脂入りセメントモルタルで平滑にしてください。

■容量・荷姿

| | |
|------------|---|
| 塗料名 | タイルラックシリカーSベースII |
| 系統 | けい酸質系仕上げ塗材 (JIS A 6909 複層塗材 Si 主材) |
| 容量 | 20kg |
| 色相 | 白色 |
| 1缶当たりの塗り面積 | ゆず肌ローラー仕上げ: 13~20㎡/缶/工程 凹凸模様吹き付け仕上げ: 10~14㎡/缶/工程 |

■性能表

| 試験項目 | 規格 | 性能 | |
|----------------|--|----------------|----|
| 低温安定性 | 塊がなく組成物の分離・凝集がないこと。 | 合格 | |
| 初期乾燥によるひび割れ抵抗性 | ひび割れがないこと。 | 合格 | |
| 付着強さ(N/㎡) | 標準状態 | 0.7以上(複層塗材 Si) | 合格 |
| | 浸水後 | 0.5以上(複層塗材 Si) | 合格 |
| 温冷繰り返し | 試験体の表面に、ひび割れ、はがれ及び膨れがなく、かつ、著しい変色及び光沢低下がないこと。 | 合格 | |
| 透水性B法(ml) | 0.5以下 | 合格 | |
| 耐衝撃性 | ひび割れ、はがれ及び著しい変形がないこと。 | 合格 | |
| 耐候性A法 | ひび割れ及びはがれがなく、変色の程度がグレースケール3号以上であること。 | 合格 | |

19. ALC面、多孔質下地、コンクリートブロック面など外部の素地において巣穴や段差などがある場合は、樹脂入りセメント系下地調整材(ニッペ1材カチオンフィラー、ニッペ1材フィラー#200)などで処理してください。(合成樹脂エマルジョンパテの使用は避けてください。)
20. 新設 ALC パネルなど表面が弱い素材の場合、本品の凝集力によって下地の表層からはく離する場合がありますので、本品を直接塗装することは避けてください。
21. 内外壁の新設仕様の場合は、必ず下塗りにシーラーを塗装してください。
22. 材齢の若いコンクリートなどセメント成分が十分に硬化していない場合、エフロレッセンスが発生するおそれがありますので、溶剤系シーラーをご使用下さい。
23. 新設の押出成形セメント板、GRC板、フレキシブルボードなどは、下塗り材としてニッペ浸透性シーラー(新)、ニッペ液浸透シーラー、ニッペファイン浸透シーラーをお使いください。
24. 開栓後放置する時は皮が張らないようにポリエチレンシートなどでシールし、保管してください。
25. 屋外の塗装で降雨、降雪のおそれがある場合、および強風時は塗装を避けてください。
26. 塗装時および塗装後に密閉しますと乾燥が遅れますので、換気を十分に行ってください。
27. 塗装時および塗料の取り扱い時は、換気を十分に行い、火気厳禁にしてください。
28. 飛散防止のため必ず養生を行ってください。
29. シーリング面への塗装は、塗膜の汚染、はく離、収縮割れなどの不具合を起こすことがありますので行わないでください。やむを得ず行う場合は、シーリング材が完全に硬化した後に行うものとし、塗り重ね適性を確認し、必要な処理を行ってください。また、ニッペプライドオフプライマーを下塗りすることで、可塑剤移行による汚染の低減が図れますが、シーリング材の種類、使用条件などによりはく離、収縮割れが起こることがあります。
30. 空木、天端など長時間水が滞留する箇所では塗膜の白化、膨れなどが発生する場合がありますので、養生シートの設置方法などに配慮し、換気を促してください。
31. 薄めすぎは隠ぺい力不足、仕上がり不良などが起こるため規定範囲を超えて希釈しないでください。
32. 大面積の塗装では補修部分が目立つことがあります。使用塗料のロットは必ず控えておき、補修の際は塗料ロット、希釈率、および補修方法などの条件を同一にしてください。
33. 汚れ、きずなどにより補修塗料が必要な場合があります。使用塗料のロットは必ず控えておき、補修の際は塗料ロット、希釈率、および補修方法などの塗装条件を同一にしてください。
34. 塗料は内容物が均一になるようによくかき混ぜてください。特につや調整剤では、つや消し剤が沈降している場合がありますので、かきはん機を用いて缶底の沈降物を十分にかきはんしてご使用ください。
35. 開封後は一度に使い切ってください。やむを得ず保管する場合は密栓してから冷暗所で保存し、速やかに使い切ってください。
36. 大気中の浮遊鉄分が多い地域では、この鉄分が塗膜表面に付着し、塗膜が赤褐色に変色したように見える場合があります。
37. 塗料漏洩の原因になりますので、保管・運搬時に容器を横倒しにしないでください。
38. 製品の安全に関する詳細な内容については、安全データシート(SDS)をご参照ください。

安全衛生上の注意事項 <ニッペ タイルラックシリカーSベースII>

横倒厳禁

1. 取扱い後は、手洗いおよびうがいを十分に行うこと。
2. 本来の用途以外に使用しないこと。
3. 口をすすぐこと。
4. 吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
5. 容器からこぼれた時は、砂などを散布した後処理すること。
6. 施設して保管すること。
7. 直射日光や水濡れは厳禁。
8. 塗料等の缶の積み重ねは3段までとすること。
9. 容器は、つり上げないこと、やむを得ずつり上げるときは、適切なつり具で、垂直に持ち上げ、落下に

- 十分注意すること。(偏荷重になると取っ手が外れ、落下事故の危険があります。)
10. 塗料、塗料容器、塗装具を廃棄する時には、産業廃棄物として処理すること。容器、塗装具などを洗浄した排水は、そのまま地面や排水溝に流すと環境に悪影響を及ぼすおそれがあるため、排水処理場などの施設に持ち込むが、産業廃棄物処理業者に処理を依頼すること。
11. 内容物/容器を国際、国、都道府県又は市町村の規則に従って産業廃棄物として廃棄すること。

※上記の表示は一例です。色相などにより、容器の表示と異なる場合があります。
■詳細な内容、表示例以外の製品については、安全データシート(SDS)をご参照ください。
■本製品は日本国内での使用に限定し、輸出される場合は事前にご相談ください

危険有害性情報

非該当

日本ペイント株式会社

北海道支店 ☎011-370-3101 近畿支店 ☎06-6455-9320
東北支店 ☎022-232-6711 中国支店 ☎082-281-2180
関東支店 ☎03-5479-3614 四国支店 ☎0877-56-2346
北関東信越支店 ☎03-5479-3614 九州支店 ☎092-751-9861
中部支店 ☎052-461-1960

- 本カタログの内容については、予告なしに変更する場合がございますのであらかじめご了承ください。
- 本カタログ中の製品名・会社名は、日本ペイントホールディングス株式会社または日本ペイント株式会社・その他の会社、日本およびその他の国の登録商標または商標です。
- Copyright 2022 NIPPON PAINT Co.,Ltd. All rights reserved.
- 日本ペイントホームページ <https://www.nipponpaint.co.jp/>

カタログNo.

NP-A031

UD221002T

2022年10月現在